

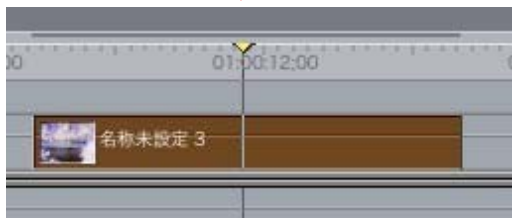
# FxScript Trial

## StopMotionEffect+

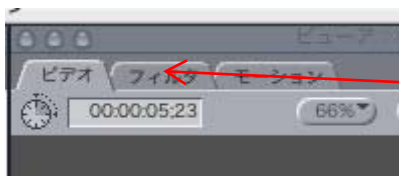
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

# Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。  
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

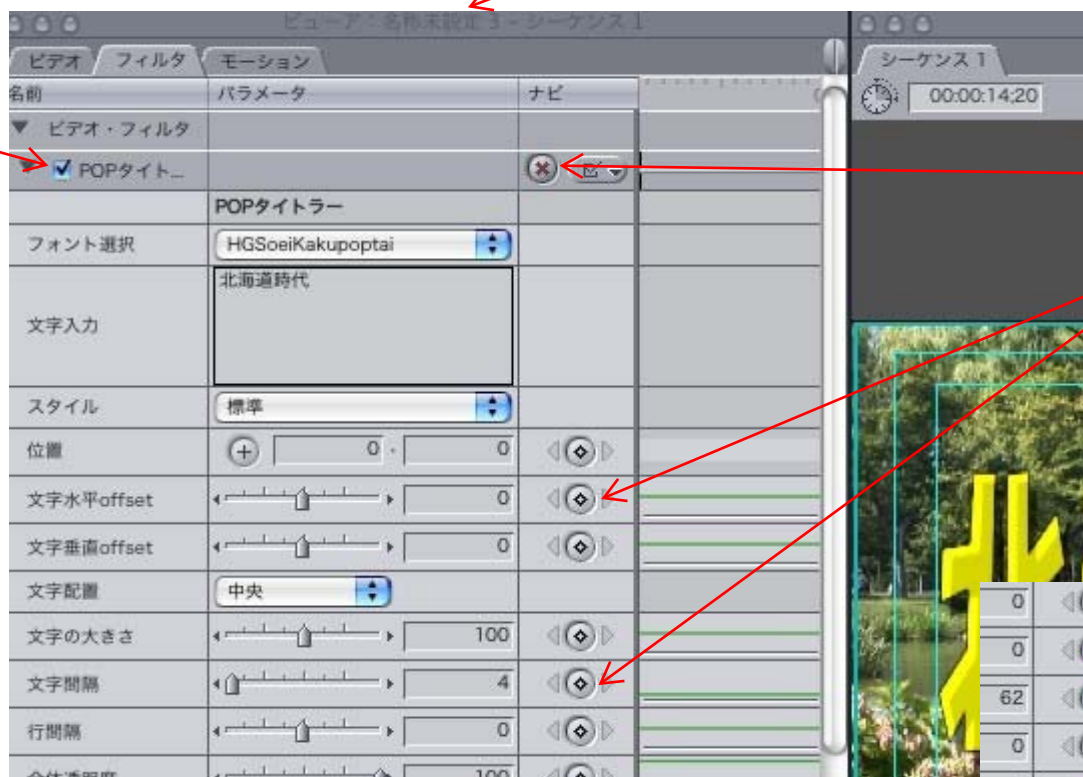


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

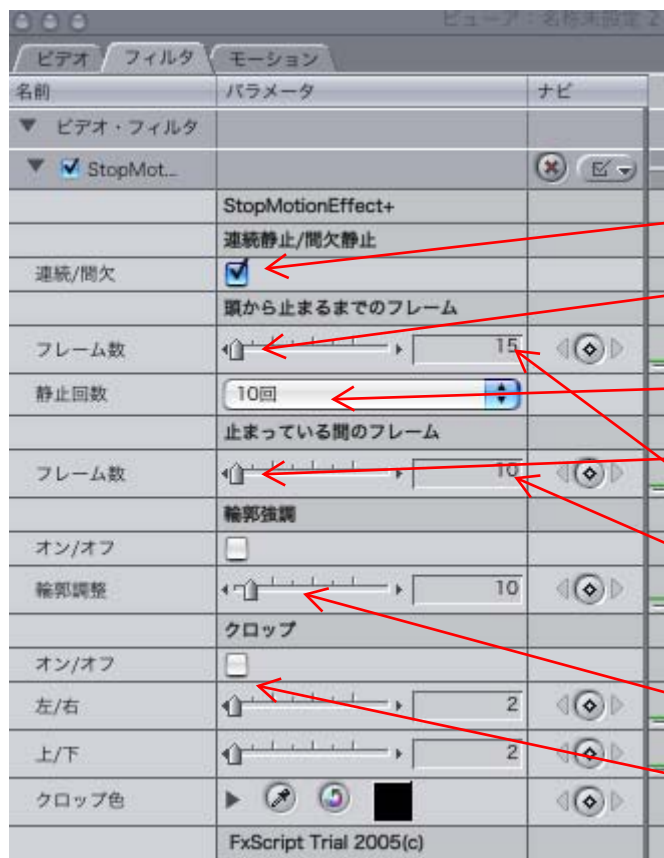
項目ごとに設定

シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。



画像に設定されたプラグ

# StopMotionEffect+



このプラグは動いている映像が連続静止します。  
最大連続静止回数は10回です。  
また間欠静止機能があり2~5回まで設定できます。  
効果の特徴は最終静止画面の同じフレームから動画が動きます。

連続静止/間欠静止切り替えボタン

連続静止の場合は絵頭から静止に行くまでのフレーム数の設定  
(間欠の場合は間欠間の動いているフレーム数と兼任)

静止回数選択ボタン

静止している時間の設定をします。

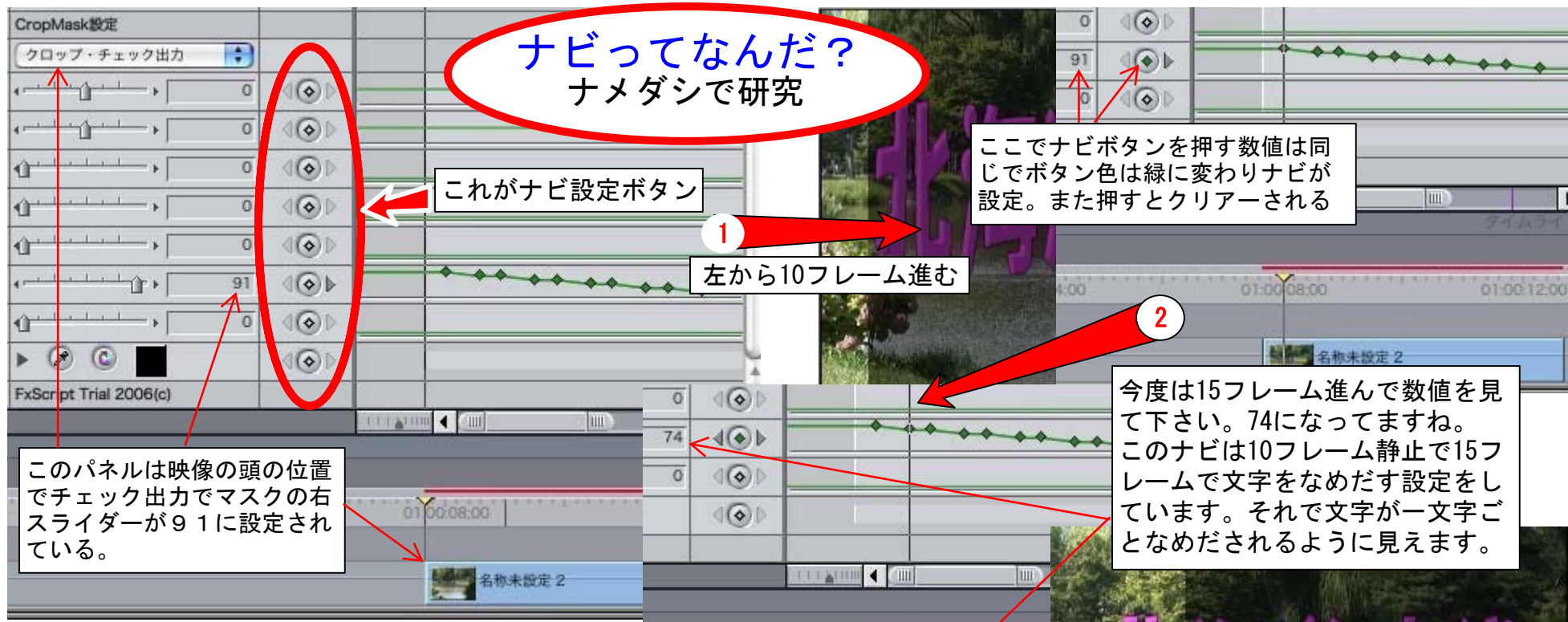
この効果に関しては最初に設定した両フレーム数をナビで  
設定しなおすと効果が崩壊します。もし狙いで静止などの  
効果の長さを変化させたい場合はプラグを乗せる映像を  
細かく切ってそれぞれにプラグを設定してください。

輪郭補正機能です

クロップを装備しています。

デモ映像とご購入はここをクリック

FxScript Trial



ナビってなんだ？  
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

1  
左から10フレーム進む

2

今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

3

デモ映像を見る  
クリック



**ナビゲーションの説明**

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。

